

●特定外来生物の例

写真
国土交通省河川局河川環境課 企画
外来種影響・対策研究会 監修
財団法人リバーフロント整備センター 発行
「河川の外来種図鑑」より



オオキンケイギク

春から夏にかけて橙黄色の花を咲かせます。
大きな群落をつくることもあり、ほかの植物を追いやってしまう恐れがあります。

アレチウリ

長いつるを伸ばして広がり、一面を覆うように成長します。
ほかの植物に覆いかぶさってしまうと、アレチウリの下
の植物は日向が届かず枯れてしまうこともあります。



オオハンゴンソウ

夏から秋にかけて黄色の花を咲かせます。
大群落になることもあり、国立公園などでは
在来種に影響があるとして除去されます。
高さは50~300cmになります。

オオカワヂシャ

高さは30~100cmになります。
春から夏頃にかけて淡紫色の花をたくさん
咲かせます。
在来種のカワヂシャと交雑して雑種をつく
るため、純粋なカワヂシャが減少してしまう
恐れがあります。



ナルトサワギク

近年になって日本に侵入しました。
高さは30~70cmになり、黄色い花を咲かせます。

これらの植物は、「従事者証」がないと移動・処分ができません。繁茂を確認した場合、県担当者までご連絡ください。